

別紙様式 1

平成28年度 指定管理者運営状況点検・評価シート

対象施設名	徳島県立高丸山千年の森	施設所在地	徳島県勝浦郡上勝町大字旭字中村66-1
指定管理者名	一般社団法人かみかつ里山倶楽部	指定期間	平成27年4月1日～平成30年3月31日
施設所管課	林業戦略課	【連絡先】	088-621-2458

1 施設の概要

設置年月日	平成15年7月17日
設置目的	森づくりに関する県民の意識の啓発を図り、森と人との共生に資するため、県民参加の森づくり運動の活動拠点として設置
施設内容	高丸山千年の森（千年の森広場1.0ha、保全ゾーン25.1ha、育成ゾーン31.0ha、協力ゾーン58.9ha） 千年の森ふれあい館（本館347.22㎡、体験作業所）
利用料金等	無料
開館日・休館日等	千年の森ふれあい館；毎週水曜日、12月28日～1月4日

2 指定管理者の業務

指定管理者の業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・高丸山千年の森の施設運営業務（利用の促進、利用の拡大のための啓発活動、イベントの実施、受付案内業務、遊学の森における、ボランティアグループの活動促進） ・施設の維持管理業務（清掃業務、施設警備業務、設備管理業務、植栽管理業務、修繕業務） ・利用の許可等に関する業務
------------	---

3 施設の管理体制

管理体制	正職員 3 名 臨時職員 7 名 計 10 名
	<ul style="list-style-type: none"> ○事務局（総括責任者1名、事務局長1名、常勤スタッフ2名、非常勤スタッフ6名） ○部会（森づくり部会、環境教育部会、参加交流部会） ○一般社団法人かみかつ里山倶楽部 協力団体10団体（(有)環境とまちづくり、(株)かみかついきゅう、(株)もくさん、NPO法人郷の元気、ハーモニークラブ旭、上勝林友会、勝浦川若手林業研究会、上勝自然体験学習会研究会、やいたか、勝浦川流域ネットワーク）

4 施設の利用状況

利用者数 (人)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	28年度		726	1,451	667	706	1,090	445	951	857	376	280	322	473
前年度		486	1,220	589	800	1,348	886	1,011	832	284	436	353	425	8,670
前々年度		528	1,425	727	995	1,097	664	698	1,106	176	375	240	609	8,640

5 収支の状況

(単位：千円)

項目		平成28年度	平成27年度（前年度）	平成26年度（前々年度）
収入	指定管理料	17,928	18,144	18,144
	利用料金収入			
	事業収入	1,327	1,163	1,249
	その他	17	42	16
	計	19,272	19,349	19,409
支出	人件費	10,189	10,305	11,055
	管理運営費	5,337	4,599	5,802
	事業費	2,881	2,529	2,200
	その他			
	計	18,407	17,433	19,057
収支		865	1,916	352

6 コスト削減・サービス向上に関する取組状況

コスト削減の取組	<ul style="list-style-type: none"> ①施設修繕の直営化（可能な限り施設の修繕は職員で実施） ②省エネルギー・省資源化による光熱費削減への取組み <ul style="list-style-type: none"> ・「クールビズ」・「ウォームビズ」を取り入れることで、過度なエアコンの使用を抑える ③コピー・印刷用紙の節約による事務費の削減 <ul style="list-style-type: none"> ・印刷紙に裏紙を積極的に利用する ④物品等購入方法の見直し <ul style="list-style-type: none"> ・インターネット通信販売を活用した物品の安価な調達 ⑤外部への講師依頼の縮減 <ul style="list-style-type: none"> ・積極的な研修参加による内部スタッフの能力向上で外部への依頼を縮減している
サービス向上の取組	<ul style="list-style-type: none"> ①年間をとおした多彩な事業の開催（主に土・日・祝日の開催） ②新たな利用者意見の聴取 <ul style="list-style-type: none"> ・大学等からの視察を受け入れることで、若者などに対しても意見の聴取を行い、イベントへの反映を行っている。 ・ゆめいろプログラム（活動プログラムを、利用者の方に企画・実践してもらう）ことで、新規企画の検討材料となる。 ・アンケート内容や利用者の要望をイベント内容に反映している。 ③積極的な情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページで随時情報発信（27年度8月より、かみかつ交流協議会facebookでも情報発信を行っている。） ④職員の質の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・各種研修への積極的参加により、安全管理の向上やより良いイベントづくりへの反映。

7 自主事業の取組状況

自主事業取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ●8の自主事業及び29の主催事業を計50日間開催予定（一部事業は悪天候等により中止） ○山で使える地図読み講座：4月9日（土）、5月14日（土）、6月11日（土）、7月9日（土）、9月10日（土）、9月24日（土） ○上勝産材でままごとキッチン作り：11月23日（水） ○森づくりとジビエ料理体験：12月18日（日） ○高丸山で雪の観察会2月4日（土） ○遊学の森～合同森づくり大会：5月22日（日）、7月3日（日）、10月15日（土） <p>など年間を通して事業を積極的に実施している。 ※雪の多い冬場でも工夫して自主事業を積極的に開催している。 事業をとおして、施設の利用促進や高丸山千年の森づくり・上勝町にかかわるきっかけづくりが行われている。</p>
----------	--

8 管理運營業務に係る点検・評価

項目	評価	点検結果
①利用者ニーズの把握・分析と利用促進 ・利用者ニーズの把握 ・利用者ニーズへの対応 ・施設の利用促進	A	・行事開催時のアンケート調査のほか、来館者への聞き取り等により利用者ニーズの把握を行い、プログラムに反映させている。
②自主事業 ・計画した自主事業の実施	A	・計画書に基づいて様々な自主事業が開催されている。 ・利用者のニーズに対応し、内容を改善した活動が計画されている。
③適正な維持管理 ・施設の保守管理・修繕 ・年間作業計画に基づく適正な維持管理 ・県備品等の適正な管理	A	・施設毎に管理方法を明確にし、適正に維持管理を行っている。 ・高丸山千年の森では、森林作業を体験できる実際の森林を有しており、その管理を兼ねた森づくり活動を継続して行っている団体への周知のために、合同森づくり大会の開催などをDM等で配信している。
④収支計画 ・収支計画の達成状況 ・コスト削減の状況 ・外部委託の状況	S	・物品の購入に当たっては、基本的に町内企業の利用を推進しているが、販売が行われていない場合はネット購入を利用することで、経費の節減等に取り組んでいる。 ・「クールビズ」・「ウォームビズ」を取り入れることで、過度なエアコンの使用を控え光熱費の抑制に努めている。
⑤管理運営体制等 ・管理運營業務計画書 ・職員の配置、研修計画 ・諸規程の整備 ・利用料金の徴収、減免 ・モニタリングの実施状況	A	・研修の実施など、職員の能力向上に努めている。 ・細かなセルフモニタリングが実施されており、その活用が早急に行われている。
⑥職員体制 ・職員の労働条件	A	・事業計画書に示された労働条件を満たす勤務ができている。
⑦地域への貢献 ・地元雇用の状況 ・地元企業への業務委託	A	・高丸山現地施設の清掃等を地元団体に委託するなど、指定管理費の約半分が地元雇用・地元団体委託に使われている。
⑧地域との連携 ・地元団体等との連携	S	・地元団体に施設や森林、林道の維持管理等について委託を行っている。 また、地元上勝町の15以上の団体と活動・維持管理・マネジメントなど様々な分野で連携協力を行っている。
⑨安全管理 ・安全管理体制、事故防止体制 ・災害等発生時の対応体制 ・マニュアルの整備、職員教育 ・個人情報保護への適正対応	S	・職員に安全管理研修を行うなど、安全管理に対する体制の向上が図られている。 ・豪雨後の迅速な施設の巡視、補修が行われている。 ・高丸山千年の森現地の安全対策として、緊急時の連絡方法である携帯電話の電波状態を示した地図を作成している。 ・毎月ワーキング会議を行い、個人情報取扱基準を整備し、職員に徹底している。

項 目	評 価	点 検 結 果
⑩環境への配慮 ・環境対策の状況	S	<ul style="list-style-type: none"> ・上勝町が実施しているゴミ分別収集（34分別）を遵守している。 ・過度なエアコンの使用を控え、冬期は炭を使用するなど節電による環境対策にも取り組んでいる。 ・合同森づくり大会はカーボンオフセット型イベントとして取り組んでいる。
⑪その他 ・関係法令の遵守状況 ・情報公開請求への対応体制	A	<ul style="list-style-type: none"> ・関係法令の遵守が職員に定着している。 ・情報公開規定を整備している。
総合評価	A	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者ニーズの把握により、要望に対する対応が早急に図られている。 ・地元との連携が強く、環境への配慮や安全管理等も整っており、適正な運営管理が行われている。 ・施設利用促進や周知活動も積極的に行われている。

〈評価指標〉 S：協定書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われている。
A：概ね協定書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われている。
B：協定書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫や努力が求められる。
C：管理運営が適正に行われたとは認められず、改善を要する。

※ 項目については、事業計画書と整合性をはかる。

9 その他（今後の課題及び対応等）

【今後の課題】
・森林を中心とした屋外活動が主であるため、雨天時の対応。
・施設利用者の増加
【対応】
・雨天時のプログラムは、参加者が楽しめるよう、元のプログラムとかけ離れることがないように考慮する必要がある。
・ボランティア目線で考えた、参加者と高丸山双方にメリットあるイベントや、他の施設とは違うイベントを増やし、普及啓発を促進させる。